

東吳大學 110 學年度碩士班研究生招生考試試題

第 1 頁，共 2 頁

系級	法律學系碩士班 F 組(財稅法)	考試時間	100 分鐘
科目	法學日文	本科總分	100 分

※一律作答於答案卷上(題上作答不予計分)；並務必標明題號，依序作答。

一、請將以下日文詞彙翻譯為我國相對應或類似之法律用詞(每題 4 分，共 40 分)

【例】公平取引委員会 = 公平交易委員會

- 1、株主總會
- 2、立法院
- 3、却下
- 4、嫡出子
- 5、相続税
- 6、ポツダム宣言
- 7、手当て
- 8、財務省
- 9、テロ活動
- 10、執行猶予

二、請將以下日文段落翻譯成中文(每題 30 分，共 60 分)

1、
 給与所得者は、事業所得者等と異なり、自己の計算と危険とにおいて業務を遂行するものではなく、使用者の定めるところに従って役務を提供し、提供した役務の対価として使用者から受ける給付をもってその収入とするものであるところ、右の給付の額はあらかじめ定めるところによりおおむね一定額に確定しており、職場における勤務上必要な施設、器具、備品等に係る費用のたぐいは使用者において負担するのが通例であり、給与所得者が勤務に関連して費用の支出をする場合であっても、各自の性格その他の主観的事情を反映して支出形態、金額を異にし、収入金額との関連性が間接的かつ不明確とならざるを得ず、必要経費と家事上の経費又はこれに関連する経費との明瞭な区分が困難であるのが一般である。その上、給与所得者はその数が膨大であるため、各自の申告に基づき必要経費の額を個別的に認定して実額控除を行うこと、あるいは概算控除と選択的に右の実額控除を行うことは、技術

東吳大學 110 學年度碩士班研究生招生考試試題

第 2 頁，共 2 頁

系級	法律學系碩士班 F 組(財稅法)	考試時間	100 分鐘
科目	法學日文	本科總分	100 分

的及び量的に相当の困難を招来し、ひいて租税徴収費用の増加を免れず、税務執行上少なからざる混乱を生ずることが懸念される。また、各自の主観的事情や立証技術の巧拙によってかえって租税負担の不公平をもたらすおそれもなしとしない。旧所得税法が給与所得に係る必要経費につき実額控除を排し、代わりに概算控除の制度を設けた目的は、給与所得者と事業所得者等との租税負担の均衡に配意しつつ、右のような弊害を防止することにあることが明らかであるところ、租税負担を国民の間に公平に配分するとともに、租税の徴収を确实・的確かつ効率的に実現することは、租税法の基本原則であるから、右の目的は正当性を有するものというべきである。

(サラリーマン税金訴訟、最高裁判所昭和 60 年 3 月 27 日大法廷判決)

2、

社会運動はときに激しい抗議行動や、身体を張った実力行使をすることがある。人はなぜそうした行動に身を投じるのだろうか。また、社会運動はときに夢物語のような理想を語る。彼らは夢の世界の住人なんだろうか。

理由も根拠もなく人が行動を起こすことはない。社会運動もまた同じである。社会運動が生まれるのは、それに参加する人びとにとって、その運動を通じてしか解決できない問題があると思うからだ。社会運動に出会うことによって、私たちはそこに何か「問題」があるらしきことを知ることができる。環境問題、差別問題、人権問題……、運動が訴える問題はさまざまであり、また訴え方もさまざまである。けれども、そこに問題があるという訴えに出会わない限り、私たちはそれに気づくこともできないだろう。

また、さまざまな社会問題は、そこに問題があるというだけでなく、そうした問題の背景にある社会制度の機能不全、価値規範や文化的実践の変化についても知らせてくれる。運動に携わる人たちも、自分たちなりに問題の原因を分析し、解決法を考え、誰が何をなすべきかについての意見と信念をもつだろう。運動が提示する争点は、現代社会についての深い洞察を含んでいる。他方、社会運動が盛んな時代もあれば、活発な動きがみられない時代もあるように、社会運動に注目することで、時代と社会がみえてくるのである。

(大畑裕嗣など『社会運動の社会学』)